

劇（アニメーション含む）

ビデオ
カラー／19分
日・英語（字幕）版

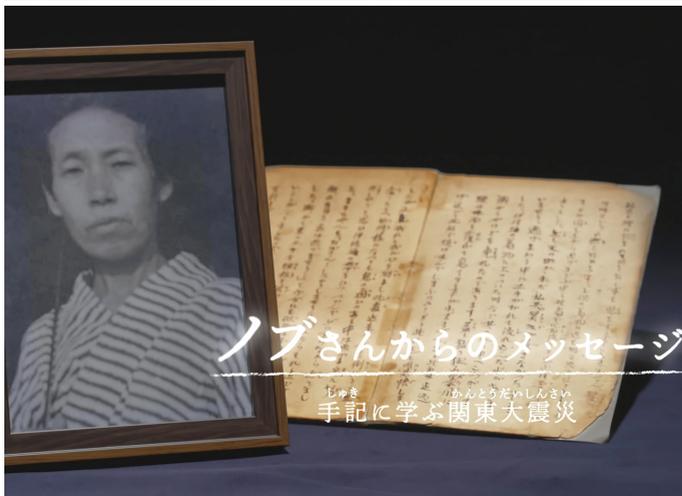
- 企画
（公財）東京防災救急協会
- 監修
武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター特任教授）

スタッフ

- 製作
山本孝行
- 脚本・演出
栗原龍一
- 演出助手
片山昌志
東海林貴人
- 撮影
今野聖輝
中井正義
西島房宏
- 照明
池田義郎
- 照明助手
小岩 強
- VE
本間康彦
- 録音
藤林 繁
- 効果音
帆苺幸雄
- 選曲
大江拓二
- アニメーション
アダチマサヒコ
- 朗読・ナビゲーター
上野樹里
- 出演
宮園莉桜

映文連アワード2023文部科学大臣賞

1923年9月1日のあの日、ノブさんは何を見、どう行動したのか。この動画では、朗読とアニメーションによる再現映像により、ノブさんの手記を読み解きながら関東大震災を追体験することで、日ごろの防災意識を高め、命を守る防災行動、共助の大切さを学ぶ。



今から約100年前、10万人余りもの死者を出した関東大震災。その大災害の中、生き延びたひとりの女性がいた。東京の下町に暮らしていた松本ノブさん。ノブさんは、震災当時29歳、幼子ふたりを連れ、必死に逃げて命をつないだ。その経験を子どもたちに伝えるために手記を残した。

1923年（大正12年）9月1日のあの日あの時、ノブさんは何を見、どう行動したのか。関東大震災の被害の記録や、避難するノブさんの判断には、突然襲ってくる大災害に対して命を守るためにどう行動すればよいか、現代にも通じるヒントが隠されている。